

# 人口減少対策について問う

## 総合的取り組みが必要である



宮本 昭一 議員

大崎町総合戦略に基づき、人口ビジョンに掲げる目標をめざし、総合的な取り組みと効果的な人口対策に着手する必要があります。施策の効果検証を行う。

国立社会保障人口問題研究所が発表した二〇四五年の市町村別将来人口によると、県内43市町村で15年に比べて人口が減り、本町も人口減少率は48・1パーセントで高齢化率は45・8パーセントとなっている。人口減少の影響は労働力不足となり深刻な問題である。これに対する町長の所見を問う。

### 効果的な人口対策と効果検証を行う

町長

人口対策については



### 定住用分譲の考えはないか

宮本議員

国道220号沿いの池之原に、20年後はあなたの土地にというキャッチフレーズで定住用地貸付を行うっており、大変好評とのことである。本町も町有地などを含めた総合的な人口対策の分譲が必要と思うかどうか。

### 分譲事業の実現に取り組む

町長

今まで事業実施に向けた検討を進めてきたが、農地法等の規制により断念した経緯がある。引き続き分譲に適した土地の情報収集に努め、関係法令等も踏まえながら、行政主導・民間主導に関わらず、定住を促す分譲事業の

### 移住推進室の設置の考えはないか

宮本議員

人口が減少すればおのずと経済力は低下し、町民の負担は増加する。いま人口問題を最優先に取り組むべき大きな課題と思う。移住・定住をはかるため移住推進室を設置する考えはないか。

### 全庁的な組織見直しの中で検討する

町長

移住推進の強化をはかるという意味では必要性を感じているが、様々な施策を総合的にかつ速やかに進めていくことが重要である。地方創生や行政改革などを踏まえ総合的に判断すべきものと考えている。移住推進室の設置については全庁的な組織見

直しの中で検討して参りたい。

### リサイクル奨学金の創設はどうか

宮本議員

リサイクル奨学金の創設は町長の公約の重点課題の一つでもある。リサイクル奨学金の制度については、12月議会の一一般質問で「実施に向けては今後細かい制度設計や基金条例の制定など、これから関係機関等と協議を進めて参るので、しばらく待っていただきたい」との答弁であったが、どうなっているのか。

### 奨学制度全体を構築しつづける

町長

ごみリサイクル事業の収益を生かした奨学金制度創設に向け、4月10日鹿児島相互信用金庫、慶応義塾大学湘南藤沢キャンパス研究所との間で、大崎町リ

グラムの研究開発と推進に関する協定を締結した。経緯については、本会議で申し上げたとおりであるが、現在の状況については、リサイクル奨学金基金創設時にどれくらい金額を積みむべきか検討を行っており、奨学制度全体を構築しているところである。

### リサイクル奨学金の実施を早急にできないか

宮本議員

この制度について、町民の方からすでに実施しているのかという問い合わせがあるが、リサイクル奨学金の実施を早急にできないか。

### 9月議会まで提案したい

町長

先進事例の反省も踏まえ、奨学制度を創設したいと鋭意努力している。奨学制度を待ち望んでいる声も多くあるので、9月議会に基金条例を提案したいと考えている。